

六 下水道処理場設置騒動

平成十年

時代の都市化の流れの中で生活改善の一環として、汚水の水洗化が叫ばれてきた。

平成十年、福岡町内十八ヶ所ポイントの中から、現花見が浜の海岸松林の中にある、福岡教育大学研修所に候補地として決定。

区としては、臨時区民会議を開催し審議するも、賛否両論があり何回か会議を重ねるも、数名の反対が強く又設置場所が国有林との兼ね合わせもあり花見が浜からの設置撤退となった。

もともと下水道処理場の設置は、山から海へ（上から下へ）流れるのが自然体であり最終的には、山側上西郷、イオンの前で決定した。

したがって花見区の、汚水はポンプアップで山側へ逆走する事になる。